

10/07 - 10/13

大阪ヘルスケアパビリオン  
「リボンチャレンジ」



高機能材料検査装置

未利用魚の活用のため  
魚を振り分ける機構の  
設計・製造で貢献



基盤搬送乾燥装置

## 超精密加工や独自の技術を活かした各種装置で高い競争力を発揮

長く大手精密・電子機器メーカーに勤めていた玉垣雅史社長が2006年に設立した株式会社タマックス。超精密加工やFA機器の設計・製作を得意としています。特に昨今では装置事業に注力しており、例えば使用済みペットボトルやタイヤを炭化させてリサイクルする炭化装置の開発や新幹線の車軸検査装置、自動車メーカーに納入する燃料電池、電子基盤の実装機、建設中のプロセッサ製造新工場に導入される製造装置などに取り組んでいます。なかでもプロセッサ製造工場に納入予定の設備は、同社が今までに培ってきた技術を利用して、新たに必要な機械を1年半もの時間をかけて独自に開発したもので、今後も競争力の高い高付加価値製品として期待されています。



リチウム電池製造機

## 「未利用魚の活用」の共同出展で、魚の振り分け機構を担当

大阪・関西万博では、東洋水産機械株式会社を中心とする6社での共同出展で、「未利用魚の活用に大阪の町工場が挑戦」というテーマのもと技術を提供します。市場に流通しない未利用魚の有効活用を考えるこのテーマではまず水揚げされた魚を自動選別する装置の開発をめざしており、同社ではAIを搭載したカメラによって特定された魚を魚種別と未利用魚に振り分ける機構で技術を提供します。



炭素繊維フィルター

## 資源の有効活用という社会課題の解決に向けて

同社が開発中の炭化装置も資源の再利用をめざすものですが、今回出展する未利用魚の活用もまた、限られた資源の有効活用という点で意義があると考えています。地球規模では人口は増加し食糧不足が懸念されるなか、廃棄される未利用魚の活用は世界的な社会課題の解決につながります。

また、意外と知られていないところで、日本のタバコのフィルターには、海外ではあまり採用されていないアセテートが使われていますが、このアセテートはたとえポイ捨てされても自然に帰る素材で、そうした環境にも細やかに配慮する日本のものづくりの考え方を、この共同出展で海外の人たちにアピールしたいと考えています。

### 企業概要

所在地 〒599-8241  
堺市中区福田325-3  
TEL 072-239-2800  
設立年 2006年  
資本金 1,000万円  
従業員 35名

公式サイト

さかしる



## 大阪のものづくり企業のバイタリティを体感



代表取締役

玉垣 雅史 さん

他のさまざまな業種の企業さんとも知り合いになれたらと参加した大阪商工会議所の説明会で、東洋水産機械さんをはじめとする6社のご縁ができました。その一社、AI技術を持つ企業さんにはさっそく当社の工場にもお招きし、万博が終わった後も何かご一緒できるのではと期待しています。当社の社員たちも万博出展にワクワクしているようで、対外的にも話が盛り上がるがあります。最近では海外製品の技術力も向上してコストパフォーマンスを高めているなか日本のものづくりの先行きを不安に思っていました。今回、まだまだ元気なものづくり企業と出会い、刺激をいただきました。

### 事業内容

生産設備・FA機器・検査装置など  
専用機の設計製作  
機械加工部品・板金部品の製造

### 主な取引先（納入先）

半導体関連製造メーカー  
検査装置メーカー  
フィルム製造メーカー

### 主な製品・サービス等

FA生産設備、検査装置、ワイヤー  
ケーブル部品、足踏み式アルコール  
噴霧台、バルンサー